

野田村道の駅



野田漁港で水産業の再興について説明を受けている様子

# 岩手県野田村 徒歩の震災学習 ～自分の命を守るためには～



防潮堤を散策



防潮堤上から美しい海



過去の教訓を生かし 命を守る行動を



鎮魂の祈りを捧げる  
大津波記念碑

災害に直面した時の  
具体的な行動のイメージは？  
自分の命？家族の命？誰かの命？  
究極の選択、どれも正解。  
日常から「備える」大切さ

## 令和5年度 1年次遠足 実施要項

- 1 目的 (1) 生徒相互および職員と生徒間の交流を図る。  
(2) 防災意識を高め、社会生活におけるルールや公共マナーを学ぶ。  
(3) 震災学習を通して、震災について知ると共に私たちがこれから生きていく上で意識していくべきことについて学ぶ。
- 2 日時 令和5年7月14日(金) 8:30~14:00
- 3 場所 岩手県野田村役場  
岩手県野田村(九戸郡)九戸郡野田20-14 TEL:0194-78-2111  
おおのキャンパス  
岩手県九戸郡洋野町大野58-12-3 TEL:0194-77-3202
- 4 参加生徒 75名(午前部:33名、午後部:40名、夜間部:2名)
- 5 引率教員 8名(1年次正副担任:8名)

6 日程

時刻	行程
8:15	学校集合
8:30	学校出発
9:15	野田村 道の駅 トイレ休憩
9:50	野田村漁港 着 見学・語り部
11:20	野田村発
12:00	おおのキャンパス着 昼食
13:15	おおのキャンパス発
14:00	学校着

## 令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	夜間部	2	体験談から学び、これからできる対策について
2	夜間部	2	避難時に起こりうる出来事について
3	夜間部	2	災害の種類と対策
4	夜間部	2	避難所で起こりうる出来事について
5	午前部	3	災害が起きたら必要な防災グッズ
6	午前部	3	避難生活中に役立つスキルや知識
7	午前部	3	避難所での生活を快適にする製品
8	午前部	3	災害が起きたときの対処法
9	午前部	3	ペットを災害から守るには
10	午前部	3	災害時の電気・ガス・水道について
11	午前部	3	災害のライフライン
12	午前部	3	おしゃれな防災グッズ
13	午前部	3	防災グッズ
14	午前部	3	災害時にあった方が良い物
15	午前部	3	防災グッズと使い方
16	午前部	3	防災グッズ
17	午前部	3	自然災害と注意点
18	午前部	3	避難所を快適にする製品や工夫
19	午前部	3	これは必須！持っておくべき防災グッズ（年齢別）
20	午前部	3	日本に地震が多い理由
21	午前部	3	持っておいたほうが良い防災グッズポイント
22	午前部	3	地震の予知、予測は可能なのか
23	午前部	3	青森の地震について
24	午前部	3	避難所に避難する時の持ち物について
25	午前部	3	地震が起こる原因
26	午前部	3	津波について
27	午前部	3	防災において用意するもの
28	午前部	3	地震の二次災害
29	午前部	3	地震のメリット in Japan
30	午前部	3	災害時私達ができること
31	午前部	3	災害時のデマがもたらす悪影響
32	午前部	3	防災バックの保存場所と入れるべきもの
33	午前部	3	非常用持ち出し袋の中身を確認しよう
34	午前部	3	津波について・・・避難時で起きた出来事
35	午前部	3	用意しておいた方がよい防災グッズ
36	午前部	3	避難所で健康に過ごすための方法
37	午後部	3	津波と洪水の発生
38	午後部	3	災害時に自分たちができることを考えよう
39	午後部	3	新井田川で起きる災害
40	午後部	3	オススメ防災グッズと避難所で役立つ知恵
41	午後部	3	南部町の防災
42	午後部	3	災害毎の避難のしかた
43	午後部	3	私の災害時の水道、電気、ガス
44	午後部	3	人工的に起こる災害
45	午後部	3	三戸町の防災について

令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
46	午後部	3	もしまた大型地震が起こったら
47	午後部	3	私の町の防災レポート
48	午後部	3	オススメ防災グッズ
49	午後部	3	僕の防災レポート～八戸市で災害に遭ったら～
50	午後部	3	地震(津波発生)による死因調べ
51	午後部	3	災害が起きた際の予測や対応について
52	午後部	3	防災グッズを買う時のポイント
53	午後部	3	避難する時のバッグの中身とあれば便利なもの
54	午後部	3	災害時の電気、ガス、水道
55	午後部	3	防災グッズとその使い方
56	午後部	3	お薦めの防災グッズ
57	午後部	3	災害グッズ
58	午後部	3	お薦めの防災グッズ
59	午後部	3	災害に備えて用意しておくべきもの
60	午後部	3	災害時、逃げる時のポイント
61	午後部	3	災害グッズ・地震への備え
62	午後部	3	避難場所
63	午後部	3	緊急連絡網
64	午後部	3	お薦めの防災グッズ
65	午後部	3	断水した時のための対策
66	夜間部	3	避難所で健康に過ごすための方法
67	夜間部	3	避難所に避難する時の持ち物について
68	夜間部	3	災害時私達ができること
69	午後部	4	一人の時に地震が起きたら・・・
70	午後部	4	地震発生時の対処法
71	午後部	4	災害時の生存方法
72	午後部	4	津波発生時の避難ルート
73	午後部	4	災害時のペット救済法
74	夜間部	4	災害時のガス、電気、水道はどうなる？
75	夜間部	4	防災リュックについて

令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(グループ別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	午前部	2	自分の地域の避難所の特徴について
2	午前部	2	過去の災害から学ぶ防災と減災の方法について
3	午前部	2	登校中や授業中、下校中に大きな地震が起きた時の対処法
4	午前部	2	避難所の共通点
5	午前部	2	いろいろな災害から学べる役に立つ知識について
6	午前部	2	過疎地域の高齢者の避難について
7	午前部	2	避難所の特徴・基準について
8	午前部	2	津波がきたときの避難について
9	午後部	2	八戸市の一次避難所と二次避難所、そしてペットの避難所について
10	午後部	2	東日本大震災前後の避難所の設備の変化について
11	午後部	2	身近な災害からの被害を受けて、今後できること
12	午後部	2	非常食について
13	午後部	2	八戸市はどのくらいの避難所があるのか
14	午後部	2	避難所でのトラブルについて
15	午後部	2	下校中の避難について
16	午後部	2	避難所での食事について
17	午後部	2	災害時予想される二次被害について
18	午前部	4	学校にある防災グッズと活用

## 令和4年度 生徒/地域住民合同防災訓練 実施概要

- 1 目的 地震や津波の災害が多発している地域で今後災害の切迫性が高い地域でもあることから、地域住民と合同で防災訓練を行い、生徒の災害に適切に対応する能力を高め、津波避難ビルとしての役割についても考える
- 2 日時 令和4年6月11日(土) 10:00~12:00
- 3 場所 本校
- 4 参加者 本校生徒及び教職員、諏訪地区地域住民
- 5 アドバイザー 青森県防災士会八戸支部 館合 裕之(たてあいひろゆき)氏  
略歴 八戸市福祉部高齢福祉課課長  
総務省消防庁委嘱の「災害語り部」として、八戸市内の小中学校から全国の自治体まで、各地で講演

### 6 概略

時間	内容	教職員の動き	生徒の動き	地域住民の動き
9:45			生徒出校	
~9:55		SHR終了後職員室に戻る	SHR	
9:55	地震発生	教頭が地震発生の放送 「地震発生、地震が収まるまで机などで頭部を保護してください。」 担任が各HRへ移動。	安全確保 ※地震が収まるまで机などで頭部保護。	安全確保
~10:00	地震が収まる	担任が避難準備の指示。	カバン・スマホ等をもって避難準備。	
10:00	津波警報発令	教頭は、津波警報放送 「ただいま津波警報が発令されました指示に従って避難してください」(2回繰り返し)		学校玄関前に避難
10:02	地域住民が避難する	生徒をグラウンド側に誘導し館花下交差点に移動。 ※担任：逃げ遅れがないか点呼確認及び体調不良者の確認。 ※生徒指導部：避難誘導及び逃げ遅れ生徒の探索。	グラウンド側から館花下交差点に向けて避難。 自転車避難者も同様。交差点まで移動後、帰校。	玄関から、スリッパに履き替え特別棟4階【視聴覚室】へ避難開始 ※夜間はガラス戸を破壊して入る事を説明。
~10:10	住民避難完了	*館花下交差点で待機職員が確認。		点呼・体調不良等の確認
~11:00		担任・副担任は、生徒を誘導し交差点まで往復。	防災士によるレクチャーと講評をグラウンドで実施。	防災士によるレクチャーと講評のためグラウンドに移動。
	終了後	HRへ移動し、振り返りアンケートを記入		
~12:00	SHR	諸連絡		地域住民解散



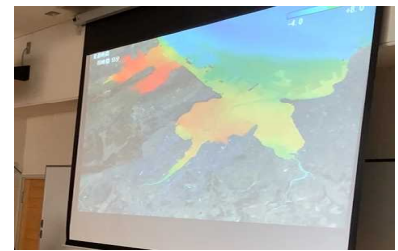
防災士の指導の下  
地域住民と避難訓練  
をする生徒たち



地域住民へ  
避難方法の説明



避難後、ハザードマップ  
を確認する地域住民



防災士による  
レクチャーと講評

